



KANSAI
HOKURIKU
BLOCK
in AREA x3



開催
報告



全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：大山内局
協力：大山乳業農業協同組合
発行日：2025年12月3日

関西北陸ブロック 大山訪問研修2025

概要

日程：2025年8月25日（月）、26日（火）

場所：中村ファーム、美歎研修館、大山乳業農業協同組合



参加者

龍谷大(2)、京教大(3)、京都橘(1)、京経短(3)、奈良女(2)、奈県大(3)、奈高専(2)、滋県大(3)、近畿大(2)、大経大(2)、阪南大(1)、阪電通(1)、関学大(1)、神外大(3)、兵県大(2)、ブロック学生事務局(5)、ブロック職員(2)

計16会員(38+大山乳業職員)名



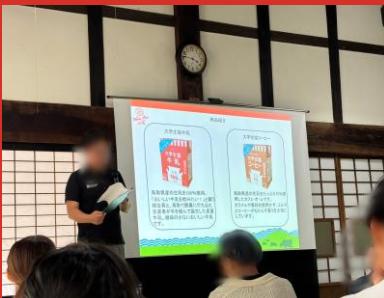
テレビ等で見る牛と
実際の牛では大きさ
が全然違うことに驚いた。
カラス避けや寝床と
分けられているなど、
生産者の努力が目に
見てわかった。
(京都橘 学生委員)

02 美歎(みたに)研修館

大山乳業と大学生協のつながりの歴史

京都生協と大山乳業とのつながりは遡ること約50年前。大学生協が「せいきょう牛乳」として取り扱いを始めたは1978年10月です。そのような大山乳業と大学生協とのつながりについて、動画や大山乳業の関係者の方からのお話を通じて、その歴史的な背景や連携の経緯について学びました。

参加者は真摯に耳を傾け、冊子にびっしりとメモをとる姿が印象的でした。大山乳業関係者の方に「直接」話を聞く機会ということもあり、積極的に質問し学ぶ姿勢が見られました。



全然知らないこと
ばかりで、大山
乳業のことを知る
とっかかりになっ
て楽しくクイズを
楽しめました！
(神外大 学生委員)

01 中村ファーム

酪農家さんと顔の見える交流を！

中村ファームにて牛舎を見学し、健康な乳牛を育てるための環境を知りました。参加者は酪農家さんにたくさんの質問をしており、牛舎の環境に込められたこだわりを知ることができました。牛を初めて見る人も多く、驚きの声も上がっていました。牛乳は牛が命を削って作るものであることや、私たちのもとに届く大学生協牛乳が安全・安心な環境で作られていることを学びました。



酪農家さんの努力
を知ったからこそ
牛乳をさらに美味
しく感じられると
思った
(京経短 学生委員)

楽しく学べる！も～も～クイズ

大阪から鳥取へのバス移動中に、大山乳業や大学生協牛乳をテーマとする「も～も～クイズ」を実施しました。美歎研修館では、その答え合わせ・解説と共に、楽しく知識をインプットすることができました。牛乳の消費量・生産量や鳥取県産牛乳に含まれる細胞数に関する問題など、難易度の高い問題が揃い、参加者からも初めて知ることが多かったという声がありました。

また、クイズの正解数に応じて大山乳業のグッズがプレゼントされました。喜ぶ人も悔しがる人もおり、とても盛り上がりました。

03 工場見学&大山乳業職員と交流

学んだことを持ち帰って、これからにつなげる

2日目には大山乳業の工場見学を行い、その後大山乳業関係者の方と意見交流を行いました。工場見学では、実際にレーンから流れてくる牛乳瓶などを生で見ることができ、参加者はわくわくした様子で工場見学を終えました。その後に行われた交流会では、普段中々お会いすることができない関係者の皆さんからお話を聞き、大山乳業にかける熱い想いを感じる参加者が多く見られました。



記録として残り、生産者さんにそれが届くような取り組みをしたい。
(近畿大 学生委員)



試飲会は行われているが、それをどのような形で行うのか、どのような発想力から手を加えていくのか、ということが大事だと学んだ。
(滋県大 学生委員)

04 大学生協からの取り組み報告

大学生協と大山乳業、双方向のつながりを！

大学生協より、同志社生協(今出川キャンパス)、龍谷大学生協(瀬田キャンパス)、大阪樟蔭女子大学生協で春の大山フェア期間に実施された試飲会や売り場づくり企画を紹介しました。どの取り組みも教訓的であり、大山乳業の職員さんに大学生協での取り組みを伝えるとともに、参加者にとっても自会員への持ち帰りのヒントを得られる有意義な時間になりました。

05 行動宣言

2日間の学びを通して、「会員生協というプラットフォームで何ができるのか」や「組合員にその魅力をどう伝えるか」について、具体的な行動を考えました。中には「自会員で初めて大山乳業の推進に力を入れる！」と意気込む参加者もあり、参加者同士でアイデアを出し合いながら、楽しく交流する姿が見られました。最後には、「自会員生協では○○を行い、大山乳業の魅力を発信していきます！」と堂々と発表する姿があり、今後の推進活動がどう進んでいくのか、運営一同とても楽しみにしています。



1日目の最後には、夕食交流会で親睦を深めました！



大山訪問研修 事後交流会

行って終わりにしない、繋げるための交流会

大山訪問研修での学びを振り返り、今後の活動に活かしていくために、訪問研修から約1か月後の9月20日(土)に「大山訪問研修 事後交流会」を開催しました。大山訪問研修参加者・未参加者合わせて、6会員から7名が参加しました。

オンラインでの小規模な交流会でしたが、参加者からは「大山の良さを再確認できた」という声や、「企画作りの方法が学べた」という声がありました。



企画② 大山フェアの時間

学びを持ち帰るために

組合員に大山乳業の魅力を伝える機会として、10月に実施される「大山フェア」を紹介しました。店舗でのポイント付与企画や、売り場づくりコンテスト、試飲会、大山乳業や生産者の方へ直接声を届けられるメッセージ企画など、盛りだくさんの内容でした。

さらに、昨年の大山フェア期間における会員生協の取り組み事例を知り、イメージを膨らませることができました。

まだまだ伝えきれていない大山乳業の魅力がたくさんある
(奈県大 学生委員)

学んだことを自大学で広めていけるように頑張ります！
(大経大 学生委員)

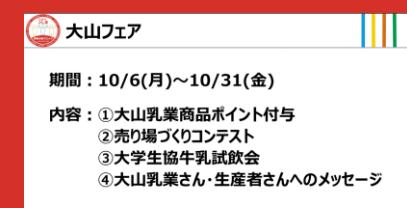
どの大学の方も、がむしゃらに活動を行っているのではなく、大山乳業さんの商品が広まってほしいという思いから活動している人が多いんだと学ぶことができました。
(京経短 学生委員)

企画① 学びを振り返る時間

大山訪問研修を振り返ろう！

まずは、大山訪問研修での学びを振り返りました。当日の写真や参加者のアンケート回答結果を交え、当日の様子を鮮明に思い出すことができました。

また、大山訪問研修に参加していない人も、大学生協と大山乳業との繋がりや歴史、大山乳業のこだわりや商品に込められた想いを知ることができました。



組合員に共有し、さらに生産者の方々に届ける
ということの
重要性を再認識
できました。
(奈県大 学生委員)

企画③ 企画作りの時間

想いをカタチに！大山愛を組合員に届けよう！

実際に活動に繋げるために、企画の骨組み作りをしました。大山乳業に関する良さや課題を見つけ、それを出発点として、企画の概要や実施に必要なものを具体化しました。

参加者同士での交流を通して、企画作りのアイデアを得ることもでき、大山乳業の魅力や想いを組合員に届けるための道筋が見えました。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい
活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [一谷 美里]
Ichitani.Misato@univ.coop